

## 平成 29 年度 センター利用者数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	1,606	1,254	1,236	1,026	647	1,190	1,425	1,554	1,441	596	773	658	13,406
うち学外	138	165	440	221	214	419	691	709	587	122	452	238	4,396
利用件数	68	50	63	56	30	44	69	64	62	43	47	30	626

## 平成 30 年度 センター利用者数 (12月までの利用者数)

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
全体	1,814	1,467	1,312	1,042	610	1,092	1,208	1,805	1,414	—	—	—	11,764
うち学外	151	134	392	237	96	286	504	951	609	—	—	—	3,360
利用件数	67	61	68	58	25	60	71	79	60	—	—	—	549

## 編集後記

今号は、JPTECとALSOの講習会を紹介していただきました。両講習会ともに受講者が講習会で最新の知識を学ぶことで、患者さんの救命率の向上に結びつく極めて有意義なものであると確信しております。加えて、教える側と学ぶ側が顔の見える関係となり、地域の医療従事者の連携をより強固なものにすることに役立っています。講習会を運営していただいている山岸先生、加藤先生をはじめとするインストラクターの皆様の不断のご努力に、この場を借りて敬意を表させていただきます。

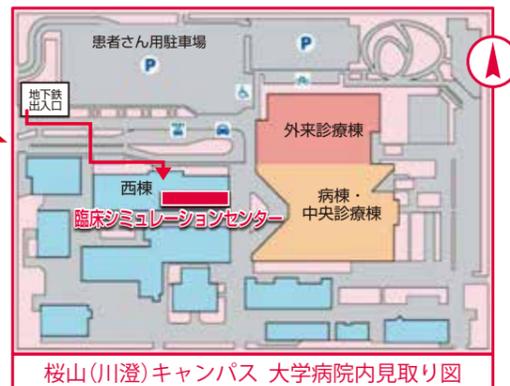
笹野 寛(臨床シミュレーションセンター長)

## 交通案内

### 名古屋市立大学病院 西棟 1階

#### [交通機関]

- ・地下鉄 桜通線「桜山」駅下車 3番出口
- ・市バス 金山7番のりばより金山12「市立大学病院」下車  
金山8番のりばより金山14「市立大学病院」下車  
(一般用駐車場がありませんので、公共交通機関でお越し下さい)



## 利用方法

- ・ホームページ(URL <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/simncu/index.html>)より利用申請書・不動産一時貸付申請書をダウンロードしてFAX、郵送または受付まで持参していただけますと、センターで利用許可証を発行します。
- ・使用予定日の6ヶ月前の月の最初の平日よりお申し込みいただけます。
- ・特にセンターの設立目的に合った利用のみは6か月以上先の予約でも受け付けます。従って、第1受付日でも既にお申し込みいただけない日ができる場合がございます。ご注意ください。最新の施設空き状況は、お電話にてお問い合わせください。
- ・使用目的、使用計画などをお知らせいただきセンター設立目的に合わないものは利用をお断りすることがございます。詳しくは、センターホームページをご覧ください。センター事務室までお問い合わせください。
- ・敷地内及び周辺道路における禁煙を実施しています。

受付時間 月～金 9時から17時(祝日除く)

vol.12  
(2019.2)

発行：名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンター  
電話 052-853-8429 FAX 052-853-8436  
E-mail [simncu@med.nagoya-cu.ac.jp](mailto:simncu@med.nagoya-cu.ac.jp) URL <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/simncu/index.html>

このリーフレットは古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

# NC 090 NEWS

第12号  
2019.2  
名古屋市立大学病院  
臨床シミュレーション  
センター  
Clinical simulation center



## vol.12 Contents

- ① 桜山外傷(JPTEC)
- ② ALSOプロバイダーコース
- ③ inベルネット
- ④ H29年度利用統計  
H30年度利用統計(12月まで)  
交通案内・利用方法 など

愛知県地域医療再生計画により設立された、名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンターは、新生児医療、周産期医療、救急医療の3領域の研修を通じて地域の医療安全の確保とチーム医療の向上を目指します。

## 桜山外傷(JPTEC)

「JPTEC (ジェイピーテック) : Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care」とは、病院前救護において、救急隊が行う外傷傷病者に対する観察・処置を学ぶ講習会です。

重症外傷傷病者の救命には、受傷後1時間(ゴールデンアワー)以内に根本治療が行われるか否かが予後を左右します。そのためには、3R(the Right patient in the Right time to the Right place) : 「適切な患者を適切な時間内に適切な医療機関に搬送する」ことを目標とした活動が必要となります。具体的には「生命維持に関係のない部位の観察や処置を省略し、生命維持に必要な処置のみを行って、一刻も早く外傷治療が可能な医療機関へ搬送する」という概念である「ロード&ゴー(load and go)」の判断と行為を行うということです。

病院前の救急隊活動を学ぶ講習会ではありますが、実はJPTECでの全身観察は、災害時の2次トリアージであるPATトリアージ(Physiological and Anatomical Triage)と同様であり、院内災害対応においても大変有用な講習会です。また、病院内医療従事者が救急隊の実際の活動を理解した上でメディカルコントロールを行い、傷病者受け入れをすることも意義のあることです。

これまで計11回(1回/年)の講習会を開催してきました。参加者は、受講生とスタッフを含め約1000名を超え、多くの熱意のある方々によって支えられています。



目標は「防ぎ得た外傷死(PTD: Preventable Trauma Death)」の撲滅です。そのためには、病院前と病院内が連携して、一貫した外傷傷病者対応をすることが不可欠です。今後共、皆様の御支援の程、宜しくお願い致します。



